

7 世界各地の衣食住とその変化

○世界各地の住居とその変化

()は、その地域で手に入りやすいものが材料となり、気候や生活習慣に合わせて工夫される

森林や草木が広がる地域：木造の住居が多い

日差しが強い地域：土や石で厚い壁をつくり、窓を小さくして家の中を涼しく保つ

雨が少なく乾燥した地域：日干しれんがで家をつくり、平たい屋根が多い

世界各地の都市部：コンクリート製の家や高層の集合住宅が増加

○世界各地で異なる食文化とその変化

()は、その地域でつくられている農作物と深い関り

()：日本や中国南部、東南アジアなど、主に雨が多い地域で栽培

→炊いた米、米の粉からつくった麺類(ベトナムのフォー)などが食べられている

()：米に比べて雨が比較的少ない地域で栽培

→小麦粉にし、パンやパスタなどに加工して食べられている

その他：トウモロコシを粉状にして調理したもの(メキシコのタコス)、いも類など

→世界各地での人や物の交流により、ほかの地域の食文化が浸透し、定着している

○世界のさまざまな衣服とその変化

()には、暑さや寒さ、強い日ざしから身を守る役割がある

暑い地域：吸湿性の良い木綿や麻を使った衣服

例) インドの()など

※()とは、インドの女性の伝統衣装で、一枚の布を巻き付けた衣服のこと

寒い地域：保温性の良い動物の毛皮を使った衣服

※その他の衣服

()：朝鮮民族の女性が着る民族衣装のこと。巻きスカートをチマ、上着をチョゴリとよぶ

()：イスラム教徒のうち、結婚している女性が外出するときに着る衣服

()：中央アメリカや南アメリカの民族衣装、アルパカの毛を利用したもの